

2、第一回懇談會（八月二十七日）に於て、自主的労働組合法、團體協約法の調査立案、失業問題、労働時間、最低賃金等の基本的對策の研究調査をなすことを決定し活動した。その中で労働組合法、團體協約法の二法案はクラブ案を立案しクラブ政治委員会を通じて政府に對して要求せしめた。3、國際労働代表及顧問の選定に就いて。第三回懇談會は小委員会を選定しそこで人選を詮衡したる結果、労働代表委員候補に西尾末廣氏、顧問候補に皆川利吉氏、丹羽市太郎氏を選定した。（この項に就ては國際部報告参照）

4、無産政黨の運動に關與することは、クラブ自體としては避けてゐたが、偶々本年二月の總選挙に於て、クラブ加盟團體の幹部が互に對立候補となる傾向があり、第四回懇談會（二月十七日）に於て、滿場一致加盟團體幹部は同一選挙區に於て對立せざる事を決定してその實現に努力した。（二、三の選挙區では對立を見た）

5、其他、労働組合の産業別整理の前提として同一工場内に並立する同種又は類似の産業團體の合同整理に關する申合せ、クラブ構成範圍に關する門戶解放の聲明等をなした。

(二) 日本労働組合會議の結成

だが、日本労働クラブの最大の活動はそれ自體を發展改組して日本労働組合會議とするための活動であつた。第五回懇談會（四月五日開催）は我が全國労働の機關に基き滿場一致を以て、労働クラブとその創立の精神に鑑みて一

日も早く労働組合會議に改組發展することを決議した。この決議は直ちに實行に移された。この一切の準備を一任せられた詮衡委員は兩來數回に亘り日本労働組合會議結成準備會を開催し、必要なる準備を完了し、八月二十日のクラブ懇談會に於てクラブを解體して日本労働組合會議組織準備會とし、八月二十六日附で東電従業員組合等の七團體に對して参加を勧誘した。この勧誘に應じて参加したのは東電従業員組合のみであつた。海員労働聯盟、大阪市電愛友會、東京瓦斯工組合、日本製陶労働組合同盟は内部的事情のために今直ちに参加困難なる事を理由とし、又日本交通労働總聯盟、東京市従業員組合は指導精神及び組織方法に對し絕對に賛同し難きことを理由として参加を留保又は拒絶して來た。しかし、組合會議の主體はこれらの参加未参加によつて影響されることもないので、九月二十五日を以て結成を完了した。（規約其他は全國労働新聞第四十三號参照）

(二) 労働立法獲得闘争

恐慌の進展とブルジョア政治の反動化の結果、我國に於ける労働立法乃至社會立法の獲得の可能性は更に困難となり濱口内閣當時問題となつた労働組合法制定の如きも今や無限の彼方へ押しやられた。然し乍ら我が同盟は、全國勞農大衆黨と協力し、或ひは日本労働クラブを通じて、絶えず労働立法の獲得のために努力し、本年八月二十六日社會大衆黨によ

つて主催された大衆會議の闘争を通じて、労働組合法その他労働立法の獲得のために闘つた。だが今や、夜霧に溺れるブルジョア階級の改良主義的政策として労働立法が實現される可能性は失はれた以上、我等は將來日本労働組合會議並に社會大衆黨と協力して大衆的闘争によつて、この目的を貫徹すべく戦はねばならない。尙ほ、我が同盟の日本運輸労働組合は、本年八月臨時議會を中心として、水上労働者に對する災害扶助法の適用その他を闘争題目として議會並に政府に對する大衆的請願運動を執行した。

(三) 失業反對闘争

失業問題は過去一ヶ年間を通じて著るしく激化したことは既に報告の通りであるが、我が同盟は特に第一回代表者會議の決定に基づき、全國的失業反對闘争委員會を設けてこの闘争のために備へ、支持政黨並に加盟組合と協力して凡ゆる機會を通じて失業反對闘争を積極的に戦ひ來つた。

(四) メーカー闘争

本年度のメーカーは、日本の都市と農村の至る所に於て行はれた。而して本年度メーカーに對しては、當時急速に擡頭しつつあつた國家社會主義反動ファツシヨの一派は之に對し妨害せんとしたにも拘らず、全日本の組織労働者は、敢然としてメーカー闘争を戦ひ抜いた。我が全國労働の動員状態は

主として内部の事情のために昨年に比して若干の減少を示してゐるが、特に東京に於てはメーカー直前に至つて表面化したファツシヨ派の擡頭を一蹴し、メーカーを通じて我等はファツシヨ粉砕の闘争を敢然として戦ひ抜いた。全國の加盟組合員状態左の如し。

▲東京聯合會	三、八六〇	關東金屬	六〇〇
▲關東車技工	二、三三二	關東木産	二五〇
▲東京乗合	一、二〇〇	日本紡織	二八〇
▲自由労働	一、四三五	關東合同	四一七
▲日本運輸	一、二一六	全國映畫	三〇
▲關東食料	一、七〇〇		
▲關東新聞	五、八八五	大阪電氣	一五〇
▲大阪聯合會	三、八八四	大阪服物	三〇〇
▲市從聯盟	三、六七九	大阪運輸	三六八
▲大阪金屬	七、八八		
▲大阪化學	二、一六		
▲紡織關係	三、一〇		
▲福山労働	一、二五〇		
▲播州化學	三、五〇		
▲栃木聯合	一、五〇		
▲佐世保合同	一、二二		
▲中部映畫	一、二〇		
▲和歌山一般	一、二〇		

以上計一一、九四七人（その他未報告の分は含まず）